


環境省・オフセット・クレジット（J-VER）制度認証委員会
 （事務局：気候変動対策認証センター）御中

平成 25年7月29日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

| | | | | | | |
|---|--|---|------|------|------|---|
| 対象プロジェクト名 | | | | | | |
| 日本出版販売株式会社 上士幌CO2吸収プロジェクト | | | | | | |
| GHG 検証機関 | | | | | | |
| 当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係 宣誓します。 | | | | | | |
| 機関名 | SGS ジャパン株式会社 | | | | |  |
| 担当部署名 | 認証サービス事業部 森林認証部 | | | | | |
| 責任者名 | 今泉 俊一 | | | | | |
| 責任者 E-mail | shunichi-imaizumi@sgs.com | | | | | |
| 責任者電話番号 | 045-330-5047 | | | | | |
| 審査員名 ⁱ | 今泉 俊一/主任検証員（チームリーダー） 佐々木 聡子/主任検証員（レビューアー） | | | | | |
| 機関要件への合致 | ISO14064-2 プロジェクト検証/認定分野-GHG の吸収プロジェクト（森林）認定を取 得し検証機関としての要件を満たし、また暫定的な妥当性確認機関としての要件を 満たし、暫定妥当性確認機関及び検証機関としての登録を受けています。 | | | | | |
| 検証結果 | | | | | | |
| 適用妥当性確認・検 証ガイドライン | オフセット・クレジット（J-VER）制度 妥当性確認・検証ガイドラインVer.2.2 | | | | | |
| 事業者との契約日 | 2013年6月24日 | | | | | |
| モニタリング報告書 受領日 ⁱⁱ | 2013年6月25日 | | | | | |
| 検証報告書発行日 | 2013年7月29日 | | | | | |
| 現地審査 | 期間 | 2013年7月1日及び2日 | | | | |
| | 審査内容 | プロジェクト対象のモニタリングエリアをサンプリングにて訪問し、プロジェクト計画書及びモニタリング報告書に記述された森林及びプロジェクトの状況から乖離がないか、また山林火災、斜面崩壊、林道や治山施設など人工物の設置などによる森林消失がないかについて確認した。現地審査時には担当者へのインタビュー、モニタリング手順及び測定機器の管理状況を確認し、構築されたモニタリング体制に変更がなく、組織の実態に即しており、適切に実行されているかについて確認した。 | | | | |
| 排出削減・ | 年度 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |

| 吸収量 | t-CO2 | - | - | - | - | 137.18 |
|---------|--|---|---|---|---|--------|
| 検証結果の要約 | <p>日本出版販売株式会社による CO2 吸収量増大（間伐促進型プロジェクト）事業に対し、モニタリング報告書中の 24 箇所の小班における 2012 年 12 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの期間（4 カ月間）の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合理的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、環境省 モニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用）Ver.4.3、方法論（R001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。</p> <p>2012 年 12 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの期間（4 カ月間）の当プロジェクトの吸収量総計は、137 t-CO2 であることを確認した。</p> <p>本検証意見は、別添のモニタリング報告書に基づくものとして解釈されなければならない。</p> | | | | | |

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ⁱⁱ 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。